

佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 佐賀市松原1-3-5 まるなかビル6階
団 体 名 公益社団法人 Civic Force
代表者職・氏名 代表理事 根木 佳織
電話番号 0952-20-2900

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4（2022）年2月8日付け 県協第2115号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和3年度寄附金活用実績報告書

事業名	災害緊急支援の拠点づくり、コロナ感染拡大を含む災害支援活動、空飛ぶ捜索医療団
寄附受入額	金 20,356,925 円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>1. 官民連携の災害支援ネットワークの拡大</p> <p>■期間：2021年4月～2022年3月</p> <p>■場所：県内、九州を中心とした国内全域</p> <p>■受益者：被災者、一般市民</p> <p>■事業の要旨：平時からの官民連携のネットワークを構築する。</p> <p>□2021年4月末A-PAD ジャパンの解散以降、同年3月に佐賀事務所を開設した Civic Force は A-PAD ジャパンが締結していた自治体や企業との協定やネットワークは佐賀を拠点にそのまま引き継ぎ事業継続した。</p> <p>□2021年8月、大町町と協働で避難所体験会を実施した。</p> <p>□2021年10月、佐賀県主催「令和3年誘致 CSO との交流会・協働に関する意見交換会」に Civic Force の代表理事が登壇。</p> <p>また企業のものどサービスが支援団体とつながるための仕組み「デジタルプラットフォームサービス」を提案し、公益財団法人トヨタ財団の助成金（1400万円）を獲得した。</p> <p>□2021年11月、東京海上日動火災保険佐賀支店と自然災害に備えた防災・減災活動に関して協業合意。</p> <p>□2021年12月、日本プロ野球選手会と災害支援に関する連携協定を締結し、合わせて「日本プロ野球選手会災害支援基金（通称：選手会ファンド）」を設立した。</p> <p>□2021年12月、婦人科領域のオンライン健康相談サービスを提供するネクイノと連携協定。</p> <p>□他、災害時に商品やサービスを提供したい企業と現場で活動する NPO が事前にネットワークを持つ仕組みである緊急災害対応アライアンス＝SEMA（Social Emergency Management Alliance）にも引き続き参画、2021年8月の豪雨で被災した児童支援事業所ガラパゴス（武雄市）への支援は一般社団法人災害時緊急プラットフォーム等からの寄付も活用して実施。</p> <p>2. 自然災害や新型コロナウイルスの影響を受ける人びとに対する人道支援</p> <p>■期間：2021年4月～2022年3月</p> <p>■場所：県内を中心とした国内全域</p> <p>■受益者：一般市民、医療機関、被災者他</p> <p>■事業の要旨：感染拡大を防ぐための支援活動、災害時の緊急支援活動、被災地の復旧・復興</p> <p>□2021年7月熱海市伊豆山において土石流災害による被災者に対し、無償の臨時バスや送迎車の運行、タクシーチケットの配布などの移動支援、学校と連携した学区用品支援、清掃用品やお弁当を提供するなど物資支援を行い、地域の方々の生活をサポートした。</p> <p>□2021年8月の佐賀豪雨では、大町町と武雄市への支援を実施、避難所への物資配布、地元タクシー会社と連携したタクシーチケット配布等行った。</p> <p>□2021年9月より、県内の高校へ生理用品の提供、佐賀県立男女協働参画センター（アバンセ）主催の“女性のためのほっとカフェ”の利用者対象の支援に物資の支援協力をしている。</p>	

□2021年11月より佐賀大学へ生理用品の提供を開始した。

□2020年1月から開始した「新型コロナウイルス緊急支援」は、医療機関の院内感染を防ぐためのトリアージ（隔離）の目的にトレーラーやテントを九州・関西の病院に貸与するなど継続した。

3. 空飛ぶ捜索医療団（ARROWS）

■期間：2021年4月～2022年3月

■場所：国内全域

■受益者：一般市民、医療機関、他

■事業の要旨：姉妹団体と協働で実施する空飛ぶ捜索医療団では、医師・看護師らを含むチームの派遣により、医学や医療の知見を基に支援活動を展開する。

□2022年1月、CFが参画するARROWSは新型コロナウイルス感染対策支援として、広島県と沖縄県の医療機関に医療チームを派遣し、感染予防物資の贈与、ワクチン接種支援、診療相談やケア、高齢者福祉施設の感染予防指導

事業実施の成果・効果（見込み）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

1. 平時より官民の連携体制を構築・維持しておくことにより、災害発生直後から迅速かつ効果的な災害対応が可能となった。
2. コロナ感染の拡大を少しでも押さえる、或いは医療機関への支援を行うことで、直接的・間接的に感染拡大を押さえることができた。被災した人びとの生命と安全を守り、被災地のより良い復旧・復興を加速することができた。
3. 医師・看護師らを含む空飛ぶ捜索医療団を派遣することでより医療に特化した支援活動ができた。

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		災害緊急支援の拠点づくり、コロナ感染拡大を含む災害支援活動、 空飛ぶ捜索医療団	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	2,135,700	第1回交付：2,135,700円 県協第352号 令和3年(2021年)5月13日
		1,241,100	第2回交付：1,241,100円
		4,157,950	第3回交付：4,157,950円
		12,822,175	第4回交付：12,822,175円
		収入計	20,356,925
支 出	1) 事業費		
	ふるさと納税募集費用：		
	返礼品の調達に係る費用	4,195,396	
	返礼品の送付に係る費用	58,473	
	広報に係る費用	345,876	
	事務に係る費用	159,651	
	人件費	1,094,748	
	旅費交通費	342,109	出張費、ガソリン代
	消耗品費	843,868	
	支援物資購入費	9,122,902	
	広告宣伝費	1,140,363	HP管理費、チラシ制作など
	2) 管理費	3,053,539	
	支出計	20,356,925	

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。